

■デジタル技術活用の現状把握のための調査事項一覧

※該当すればプルダウンで「有」or「○」選択、「その他」欄は自由記載、「追加質問」欄は各記載項目を踏まえて自由記載（ワード・パワボ等の様式自由）

追加質問		
GISシステム導入の有無		【導入時の課題や工夫等】 ①導入までに検討したこと ・検討開始から導入までの期間、導入したレイヤの選定理由、業務処理体制の見直し、業者選定方法、契約形態、他市との共同導入、自治体内他部署との連携等 ②予算の確保に関して ・予算部署への説明、導入の必要性、人員削減、イニシャルコスト・ランニングコストのどちらが予算折衝で苦労したか等 ③導入までに苦労したこと ④使用に当たっての研修体制等 ⑤システムの更新の有無 ⑥その他 ⑦導入していない場合はその理由

		実地調査	地目認定	地区区分	標準宅地選定	路線価付設	画地認定	画地計算	追加質問
活用しているレイヤ	地番図								【更新頻度、更新方法等】
	写真レイヤ								【撮影種類】航空写真・衛星写真・ドローン
									【更新頻度・撮影時期】
									【他部局／他市町村との連携の有無とその理由】
	地形図（DM、都市計画基図等）								【更新頻度、更新方法等】
	住宅地図								【更新頻度、更新方法等】
	台帳情報（土地）								－
	公的評価地点（地価公示、地価調査）								－
	法規制関係（都市計画、道路台帳、防災図面等）								【データ（図面等）の種類】
実地調査手法 （土地評価のため）	評価替え関係（状況類似、標準宅地、路線）								【路線価試算機能（GIS画面上での自動計算機能）、画地計算機能の有無等】
	家屋関係（台帳情報、家屋現況図等）								【更新頻度、更新方法等】
	その他								－
実地調査手法 （土地評価のため）	紙図面		－						【調査に当たっての準備】
	タブレット		－						①調査に当たっての準備方法
AIの活用の有無									②用意する物
業者委託の有無									③調査記録の方法
その他の技術活用の有無									④資料紛失防止対策
									【具体的な内容】（例）地目判読等
									【AI活用のメリット、デメリット】（例）効率的な現地調査に資する一方で、まだ精度が十分ではない等
									【委託内容の概要】（例）地区区分・標準宅地選定・路線価付設等
									【委託のメリット、デメリット】（例）コストは嵩むが、評価替え作業を着実にを行うことができるようになった等
									【その他の技術の内容および導入時の課題や工夫等】（例）AI検索システム等
									【今後導入を検討している技術等】（例）衛星写真・ドローン・タブレット等

追加質問		
検討課題	職員不足の観点	【技術導入で効率化等に繋がった点】 【技術導入後もマンパワー不足と感じる点】
	経験不足の観点	【技術導入により経験不足を補えて、評価内容が均一化したか】 【技術導入により窓口等での納税者説明はスムーズに行えているか、納税者からの問い合わせに変化（減少等）があったか】 【評価の基礎知識の習得はどのように行っているか】
	デジタル技術導入後の状況	【技術導入により、かえて職員員の負担が増加した点】 【その他の補足事項】
要望		【現在の業務で改善したい点、効率化したい点等】